

【エリアの特性】

＜自然＞

寝屋川の水辺や施設の緑を活かすまち

エリアの東から西側境界部を南北に流れる寝屋川の河川敷にはヒラドツツジが見られ、また、親水公園として水辺で楽しみ、憩うことができる幸町公園や寝屋川せせらぎ公園が整備されています。

また、エリアには公共施設や学校など、植栽の緑を活かすことができる施設が多く立地しています。

＜歴史・文化＞

旧街道、社寺などの歴史を感じるまち

ほぼエリアの中央部を東西に旧交野街道が通るとともに、エリア内には高宮八丁遺跡や八坂神社の楠木、住吉神社などの社寺もあります。また、古くから駅を中心に形成された商店街もあります。

＜人工・都市＞

都市核づくりを指向するまち

市の中央玄関口である寝屋川市駅の東側に位置し、駅前には市街地再開発事業により駅前広場や再開発ビルが整備され、その周辺には商店街が広がっています。さらに、現在、寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業や都市計画道路寝屋川駅前線の整備が進められています。

この他、エリアには景観に配慮し整備されたエリア中央部を東西に通る池田秦線や初本町公園とともに、市役所や中央小学校、寝屋川高校、大阪府立工業高等専門学校、大阪電気通信大学、大阪陸運支局など、多くの公共施設や教育施設などが立地し、行政、文教、業務など多様な機能が集積したうるおいのある空間があるまちです。

景観整備の方向

市や北河内地域の中心として、歴史を大切にしながら未来へ飛躍をめざすまち

景観形成の基本目標

景観形成に向けた誘導基本方針

＜自然＞

●大きく蛇行して流れる寝屋川や寝屋川に流れ込む南前川、寝屋川第十・第十一水路の水や水辺など、水際の景観を活かしたまち

●河川・水路をいかす。
・寝屋川や南前川と親水公園や川沿いの公園、公共施設や教育施設などの植栽の緑の活用
・水辺景観として寝屋川第十、第十一水路を活用

＜歴史・文化＞

●市街地の中に埋没しつつある旧家や旧集落地、消えつつある田園風景を大切にするとともに、社寺林を有する八坂神社やねやがわ戎としてにぎわう住吉神社、エリアを東西に横切る旧交野街道などを活かし、歴史が感じられるまち

●歴史的な空間を大切にし、歴史を感じられるよう演出する。
・八坂神社や住吉神社、旧集落地などの歴史的資源の活用
・旧交野街道、かつて水運路であった寝屋川、木田の囲い堤防などの認識向上をめざした演出

＜人工・都市＞

●市や北河内地域の中心として、多様な都市活動を通じ、未来へ飛躍をめざす、人々が親しみを持って集えるまち

●市の中央玄関口、市や北河内地域の中心に相應しい景観を整える。
・人々が集う駅前や市役所周辺、幹線道路の結節点などにおいて市の中央玄関口、市や北河内地域の中心に相應しい景観の形成を誘導

景観資源と特性図



③八坂神社には、市の保存樹の楠木の大き樹が茂っている



寝屋川



- (凡例)
- 旧街道
 - 商業施設・商店街
 - * ため池
 - 河川・水路
 - 農地・斜面緑地
 - * 社寺・鎮守の森
 - 公園・広場
 - 学校教育施設
 - ▲ その他公共施設
 - 低層戸建住宅地
 - 中高層住宅団地
 - 旧集落地
 - 景観単位及びその周辺の整備目標
 - 文化と歴史のネットワークルート
 - 自歩道(既存)
 - 自歩道(計画)
 - *** 緑道(既存)
 - ☆☆☆ 緑道(計画)
 - 北河内広域自転車道

■景観基本単位

名 称	<旧集落地>平池町	<旧集落地>木田町
景観整備の目標	○旧家や古いまちなみなど歴史的景観を守り育てる。 ・安政5年の旧家や残されている古いまちなみ、旧家にある600年経た楠木の老樹などを大切にする。	○旧交野街道の南側の旧家、旧集落地、田園風景など歴史的景観を守り育てる。 ・旧集落と田園風景を大切にする。
活用する景観資源	○旧家、古いまちなみの活用 ○旧家の楠木など民地の植栽の緑の活用 ○回遊性の演出などによる歴史資源の活用	○旧家、古いまちなみの活用 ○社寺、社寺林の活用 ○田園風景の活用 ○水際空間の活用 ○緑豊かな憩いの空間の演出による緑資源の活用